

# 高木まり

Vol.7  
2004.04

## さいたま変革プロジェクトNEWS

民主党さいたま・市政レポート北区版  
発行所:高木まり「さいたま」変革プロジェクト 〒331-0812 さいたま市北区宮原町3-279-6-202  
TEL 048-654-2559 FAX 048-652-6445 メールtakagi@marit.jp

**高木まり**  
さいたま市議会議員

1967年生まれ  
東京大学法学部卒  
東京銀行勤務  
枝野幸男秘書を経て  
2003年さいたま市議会議員初当選



高木まり  
公式サイト

<http://www.marit.jp>

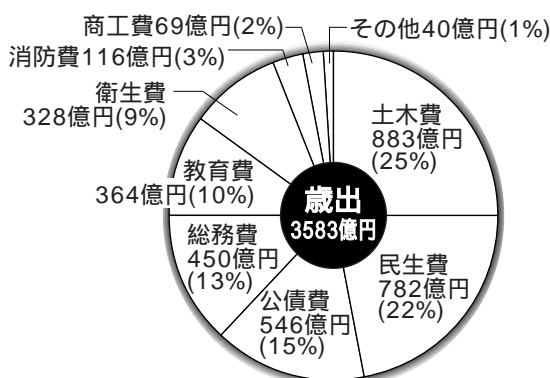
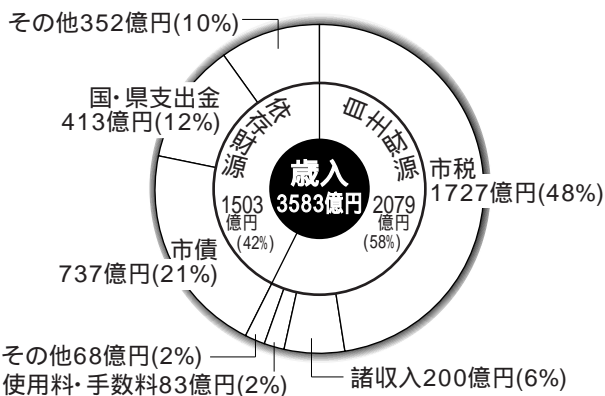
## このままで大丈夫か？ さいたま市の財政

～議会初の予算委員会方式で市政をチェック～

平成16年度予算案が2月議会に提出され、さいたま市議会初の試みとして、全体を一括審査する予算委員会方式による審議が行われ、可決成立しました。

高木まりは、会派代表の予算委員として質問に立ち、市政と税金のムダ遣いを厳しくチェックしました。

### 平成16年度のさいたま市予算



一般会計	358,300,000千円	(前年度比 7.4%・減税補填債借換分除くと 0.1%)
特別会計	205,799,000千円	(前年度比 4.5%)
企業会計	50,548,596千円	(前年度比 0.5%)
全会計総額	614,647,596千円	(前年度比 2.6%・減税補填債借換分除くと 1.5%)



国の三位一体改革の痛み受ける中、「子育て支援」などに重点の予算

今回の予算編成は、小泉内閣の三位一体改革のしわ寄せがさいたま市を直撃し、1月になって各種補助金のカットが急遽決まって対応に追われるなど厳しいものになりました。しかし、全体に5%のマイナスシーリングをかけて捻出した予算を重点施策に配分しており、中でも子育て支援に厚い予算になったことは評価したいと思います。



このままで財政は健全に保てるか？

今回の予算は一言で言って、重点施策への配分で「何に力を入れたいか」は見える予算になっているものの、その逆に「何を見直し、カットするのか」は見えない予算になっています。現段階では、さいたま市は財政力指数0.99と、他自治体に比べて健全と言える内容ですが、今回の国からの交付金・補助金のカットは今後ますます行われると考えるべきで、市の歳入は悪化が予測されます。一方歳出は、団塊の世代の職員の多額な退職金負担や、不足している学校建設、新病院の建設、合併特例債の返済など、多額なものが控えているわけで、「辛くともムダなものを切る」覚悟がなければ、今後の財政は立ちゆかなくなる恐れがあります。



必要なのは明確な方針

お金が無限にあるのであれば、どんな施策もやるに越したことはありません。しかし、そのお金がない。となれば、何はどのような理由でやり、何はどのような理由で諦めるのか、方針がはっきりしなければなりません。

例えば、高木が質問で今回指摘した競輪事業。二年連続の赤字で一般会計からの補填がなされており、ファンの高齢化、固定化、施設の老朽化など、現場の担当者がどうがんばっても未来に希望の持てないと思われる事業ですが、市ではこれに対する明確な政策判断を行っておらず、担当者に「とりあえずもう暫く続ける」と答えさせるに留まっています。

今後予算を厳しくシェイプアップしていくには、トップの明確な指針と政策判断が必要と痛感しました。

### 総括質疑で、この点を直撃

高木

「今後の財政の厳しさに鑑みると、大胆なメリハリ作業を伴った予算編成を行わないと、立ちゆかなくなる。どんな分野に切りこめると考えているか？」

市長

「15年度実施の事務事業評価を一步進めた政策評価を実施していくことで、見直せる事業を見極めていきたい」

高木のコメント：17年度予算編成では注目。皆さんも期待してチェックして下さい！